

令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

事務事業名	障害児保育事業補助金		
担当所属	子ども課	連絡先	092-332-2074

【事務事業基本情報】			
区分	②奨励・支援的事業補助		
該当規等	糸島市社会福祉法人の助成に関する条例、同条例施行規則 【内規】糸島市私立保育所等障害児保育事業補助金交付に関する要領		
基本目標	基本目標2__子どもが健やかに育つまちづくり		
政策	政策1__子育て支援の充実		
施策	施策③__支援が必要な子どものサポート体制の充実を図る		
補助期間	令和2年度	まで	

【事業概要・指標】	
事業概要	成果指標
【目的】 障害児等を受け入れている糸島市内の私立保育所等に対し、加配保育士等の雇用に対する補助を行うことで、障害児及び軽度障害児の処遇の向上と受け入れの拡大、並びに子育て支援の充実を図ることを目的とする。 ※障害児等を受け入れた場合、公定価格のみで加配保育士を雇用することはできないため、その差額を補助する。 ※安心して子どもを生み育てることのできる環境をつくるため、すべての園で障害児等を受け入れる体制を整えたい。	① 障害児等の受け入れ園数（令和2年度）
【対象事業】 特別児童扶養手当対象児童、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳所持者、障害等の医師の診断書のある児童に対する保育士等の加配に対する補助。	
【対象者】 障害児を受け入れている糸島市内の私立保育所、認定こども園（2・3号）	

【改革案】		
今後の実施方向性	現状維持	

【指標の推移】			
	単位	H31年度実績	目標値
成果指標	① 園	13	13

【投入コスト・人員】			
年度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	23,414,000	16,146,000

【環境変化等】	
開始時の周辺環境・課題 合併前からの事業。保育所等では、障がい児等を受け入れた場合、公定価格（国の基準に基づく委託費）だけでは加配保育士を雇用することが困難。一方、障がい児等の保育の需要は一定程度あった。	
現状の周辺環境・課題 障害のある児童は、増加傾向。併せて、入所申込みも増加傾向にある。	
今後の予想される周辺環境・課題 全国的な保育士不足の状況が課題と考えられる。	
市民及び議会等の意向・ニーズの変化等 障がい児等への処遇向上や保育所等の受入体制の充実は、保護者である市民にとって関心が高いと思われる。	

